

～今月の読み物～

ドイツの思い出

株式会社もくもくサンワ
代表取締役会長 井関 和郎

子供の頃から父親に銘木の商売を仕込まれた私は趣味とは全く縁がなかったのですが、中年になってストレスで血圧が上がり医者にかかった時「仕事を取るか命をとるか」と言われ「仕事の他に何か趣味を持ちなさい」と教えられました。

その後偶然新聞で「N響と第九を歌おう」という記事を見て参加してみたのが最初でした。初めて舞台に立った時の感動が忘れられずプロの新星日響の合唱団に入団しました。その後新星日響から分かれた「オラトリオ研究会」の郡司博先生のもとで34年間合唱の厳しい指導を受けました。その中で一番の思い出が「ドイツの祝祭」の公演旅行に参加した時のことです。

1987年ベルリンの壁がなくなる前の時のことでした。「モーツァルトテウムオーケストラ」と共に、ザルツブルグの大聖堂でモーツァルトの「レクイエム」やドイツのキールの教会では「メサイア」を歌いました。そして、東邦音大の学生たちと一緒に男性6名が西ベルリンに行き「ベルリンフィルハーモニーホール」でローランドバーター指揮のもとベルリンフィルと共演したことです。

オタマジャクシも何も解らず、ウォークマンで丸暗記して覚えた合唱が生涯の趣味となり今日までの健康につながりました。また、クラシックに造詣の深い友人がいろいろとアドバイスしてくれた事も幸いでした。

人生真面目に諦めず投げ出さずに頑張っていると、こんな素晴らしいチャンスと人との出会いがあり、これが私の人生の宝物となりました。今も週に一度の練習は欠かさず、舞台に長時間立つために普段はよく歩いて脚を鍛えています。

大勢の異分野の人々との交流は大いに経営の上で役立ち、この趣味に出会えた事を今は心から感謝しています。

